

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

**1. 初期支援（はじめのかかわり）**

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①前回の課題について取り組めましたか？	5	6	2	0	13

前回の改善計画

利用者の情報(本人や家族、介護者の状況)を理解したうえでどういった支援が必要かを検討する。  
サービス開始にあたって、互いの信頼関係が早期に築けるよう、安心できる接遇に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

初期面談以外にも、ラインワークス等のツールを使用し、本人、家族の意向を共有できた。  
接遇に関しては、丁寧な言葉遣い、積極的な声掛けを行い、早期になじみの関係を築くことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	7	1	0	13
②サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	6	5	2	0	13
③本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	5	5	3	0	13
④本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	8	1	0	13

できている点

ラインワークス等のツールを使用し、利用者情報の共有を図ることが出来ている。  
新規利用者に関しては、従業員の気遣いもあり、スムーズな初回利用、なじみの関係の構築が出来ている。  
家族様とも積極的なコミュニケーションを図ることが出来ている。

できていない点

初回利用時のミーティングに関しては、訪問、通い、入浴対応中の職員がいるため全員集まったミーティングが困難であった。

次回までの具体的な改善計画

ミーティングに全員集まることはスケジュール的に難しいので、ミーティングに参加できた職員から情報伝達をうけるようにする。  
引き続きラインワークス等を活用し、支援内容、注意点等の利用者情報を従業員間で共有し、常に確認できる状態にしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

2. 「～したい」の実現

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	5	5	3	0	13

前回の改善計画

利用者の掲げる目標に向かって、チームケア(本人・家族・介護者・地域・事業所)として支援に取り組む。目標を具体的に引き出す。

前回の改善計画に対する取り組み結果

利用者様の意向を聴取し、その意向をチーム内で共有し、本人の意向を優先したケアを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	6	5	2	0	13
②本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	7	4	2	0	13
③本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	5	6	2	0	13
④実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4	8	1	0	13

できている点

本人の意向を尊重したその人らしい生活の支援が出来ていた。従業員同士が情報共有し、統一感のあるケアが出来ていた。

できていない点

計画、支援が本人の意向ではなく、家族の意向に偏ってしまう場面があった。認知症の利用者様、失語等、意見聴取が難しい利用者の意向の聞き取りが不十分であった。本人のしたい生活を実現するための目標が具体的に設定できていなかった。

次回までの具体的な改善計画

認知症、意向の聴取が困難な利用者様に関しては、過去の生活歴や価値観の情報を収集し、その人らしい生活の在り方を考えていく。家族の意見を聴取しながら、本人がしたい生活に関しても必ず聴取し、家族も含めたチーム内で共有し、目標を立てて支援していく。本人のしたい生活を実現するために個別具体的な目標を設定する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

**3. 日常生活の支援**

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	1	12	0	0	13

前回の改善計画

利用者の有する能力を活かし、その人らしく生活が継続していけるよう自立支援に向けた支援を行う。

前回の改善計画に対する取り組み結果

できる能力を把握し、できる部分はできるだけ自分でできるように支援し、能力低下を予防するように介入した。記録表を整備し、本人の変化に気付けるよう日々の状態を記録した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	7	5	0	13
②本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	6	1	0	13
③ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	4	5	1	13
④本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	8	0	0	0
⑤共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	10	0	0	0

できている点

本人のできる能力を意識した介護が来ている。  
本人の能力に合わせた環境調整が適宜、適切に来ている。

できていない点

以前の暮らし方に関する情報が少ない。10個以上把握できている利用者が全員ではなかった。  
「気づき」から支援するまでに少し時間がかかることがあった。  
スケジュール的にミーティングに参加できない職員がいた。

次回までの具体的な改善計画

本人の暮らし方、価値観についてより詳細に聴取していく。  
本人のできる能力を従業員個々に把握し、残存能力を最大限生かした介入を心がける。  
ミーティングに参加できなかった従業員に対しても、内容を共有し、ケア内容の統一を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

4. 地域での暮らしの支援

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組めましたか？	6	6	1	0	13

前回の改善計画

利用者を取り巻く地域や友人との関りを把握し、事業所として関係を築く。

前回の改善計画に対する取り組み結果

運営推進会議等では出来る限り、地域住民の方の参加を促し、地域の方々の意見を聴取した。  
本人、家族と密に連絡を取り、在宅での生活状況を把握した。  
外出の機会を定期的に作り、地域へのかかわり、交流の場を設けるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	4	7	2	0	13
②本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	6	4	0	13
③事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	4	3	2	13
④本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	4	4	1	4	13

できている点

本人、家族からこれまでの生活に関してお話を聞き取るようにした。また在宅でどのように生活しているのかも家族、本人から聞き取りしている。  
民生委員、保佐人、後見人が介入している利用者に関しては定期的に連絡を取り、情報共有を図った。

できていない点

本人、家族、介護者や地域との関係が切れないう十分な支援が出来なかった。外出の機会はある限り作ったが、今まで交流していた方と同じような関係が困難な事が多かった。

次回までの具体的な改善計画

本人を取り巻く環境に関して把握するだけでなく、こちら側が主導となり、かかわりを持てるよう調整する。  
民生委員はじめ、ボランティア等、インフォーマルサービスに関して利用者がお住いの地域にどのような資源があるのかを確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

**5. 多機能性ある柔軟な支援**

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	6	5	2	0	13

前回の改善計画

日々の関りを大切にし、本人や周囲の心身の変化に気付けるよう接する。  
必要な時に必要な事を必要な量の支援を妥当適切に行う。

前回の改善計画に対する取り組み結果

サービス提供時は利用者の状態に気を配るようにし、何か変化があれば共有するよう努めた。  
変化に対して訪問サービス、通いサービスを柔軟に提供できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	3	3	3	13
②ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	5	1	1	13
③日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8	3	2	0	13
④その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	6	1	0	13

できている点

本人の状況に合わせて通い、泊り、訪問サービスを提供することが出来ている。回数の制限等も行っていない。  
本人の変化に関してミーティング等で情報共有が出来ている。  
緊急時に関しても救急対応等、柔軟に対応する事が出来た。

できていない点

自分たちの事業所のみで支援する事が多かった。地域の資源に関して情報収集し柔軟に支援に取り入れる必要がある。  
本人の良い変化を見逃さず十分に生かすことが出来なかった。  
サービス記録の内容が同じ内容で薄い事がある。

次回までの具体的な改善計画

地域資源の情報収集を行い、支援に取り入れていく。  
悪い変化ばかりにとらわれず、本人の良い変化に着目し、本人の可能性を広げられる支援につなげる。  
より詳細にサービス提供時の記録を残し、本人の変化に気付けるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

6. 連携・協働

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	4	3	3	3	13

前回の改善計画

地域とよりよい関係が築けるよう、日ごろから積極的にかかわる。

前回の改善計画に対する取り組み結果

認知症初期集中支援チーム検討会への参加、担当者会議を通して、他事業所との関りの場を持っている。  
フリーマーケット等の行事に利用者と共に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①その他のサービス期間(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	4	2	2	5	13
②自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	2	1	7	13
③地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	3	3	2	5	13
④登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	2	1	6	13

できている点

認知症初期集中支援チーム検討会への参加。  
フリーマーケット等の地域行事に利用者と参加している。  
地域包括支援センターからの相談、紹介があった。

できていない点

コロナの影響もあり、地域の会合、イベントにあまり参加できなかった。  
他事業所との会議にケアマネージャー以外の職員があまり参加できなかった。  
地域の高齢者や子どもが事業所に立ち寄ることが無かった。有料老人ホーム利用者家族は定期的な訪問があった。

次回までの具体的な改善計画

民生委員の会議等、地域のイベント、会合に積極的に参加する。  
他事業所との会議にケアマネージャー以外の職員も参加する。  
地域住民の方々が事業所に気楽に訪れる事が出来るよう、広報や、対応体制を整備する。

## 事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

### 7. 運営

#### ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組めましたか？	5	3	2	3	13

#### 前回の改善計画

よりよい事業所をつくるため、利用者を支えるために必要な運営のプロセスを個々で考える。

#### 前回の改善計画に対する取組み結果

利用者、家族、介護者からのご意見があれば適宜、事業所の運営に反映しています。  
職員からの意見は管理者が聴取し、事業所の運営に反映している。

#### ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①事業所のあり方について、職員として意見を言うことが出来ていますか？	5	4	3	1	13
②利用者、家族、介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	5	0	1	13
③地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	4	1	4	13
④地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	4	3	1	5	13

#### できている点

職員からの意見を伝えやすい風土が出来ており、積極的に事業所運営に関しての意見が出ている。  
利用者家族からの意見は聴取出来ている。各自意見を聴いたら情報共有している。

#### できていない点

地域の方からの意見は非常に少ないが、近隣の方に関してはトラブルにならないよう定期的に苦情が無いか意見を聴いている。  
コロナの影響もあり積極的に地域と協働する取り組みを行うことが出来なかった。

#### 次回までの具体的な改善計画

地域の方から事業所運営に関するご意見を頂くために、まず地域に開けた事業所であることをアピールし、事業所を知っていただく。  
地域の方との交流の場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

8. 質を向上するための取組み

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組めましたか？	7	3	2	1	13

前回の改善計画

職員一人一人が質の向上を念頭に置き資格取得や研修参加を積極的に取り組む。情報や気持ちの共有を全体で行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

疾患、小規模多機能型居宅介護に関する研修を職員全員に実施し、業務に対する理解を深めた。研修計画に基づき、定期研修を行った。研修資料に関しても見直しを行った。職場外の研修にも参加するようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	6	3	1	3	13
②資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	4	4	1	4	13
③地域連絡会に参加していますか？	1	1	2	9	13
④リスクマネジメントに取り組んでいますか？	1	6	2	4	13

できている点

全職員対象の職場内研修は研修計画を作成し、実施している。資格取得、スキルアップ研修は都度、希望者を募り参加を促している。認知症初期支援チームの会議等に参加している。事故発生、再発防止研修を実施している。

できていない点

資格取得に関しては消極的であり、認知症介護基礎研修以上の資格取得に繋がっていない。リスクマネジメントは研修、ヒヤリハットの記入、注意喚起は行っているが、計画的な管理が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

介護福祉士実務者研修、介護福祉士等のキャリアアップを進めていく。職場外の研修、会議に積極的に参加する。ヒヤリハット事例等を職員会議で定期的に検討する場を設ける。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	R6.6.28
参加メンバー	6名

9. 人権・プライバシー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①前回の課題について取り組みましたか？	10	3	0	0	13

前回の改善計画

拘束や虐待を理解し、自身の支援の在り方を振り返る。

前回の改善計画に対する取り組み結果

虐待、身体拘束廃止に関する委員会、研修を定期的で開催し、事業所の現状について従業員間で共有した。  
個人情報保護、プライバシー保護に関する研修を定期的実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③プライバシーが守られている	11	2	0	0	13
④必要な方に成年後見制度を活用している	10	1	1	1	13
⑤適正な個人情報の管理ができている	11	1	0	1	13

できている点

身体拘束、虐待は行っていない。定期的な委員会も開催し、事業所の現状を把握、共有することが出来ている。  
成年後見制度を一部の利用者で活用できた。

できていない点

費用面から成年後見制度を利用できていない利用者が居る。  
虐待、身体拘束に関してグレーゾーンの認識が不十分。

次回までの具体的な改善計画

成年後見制度に関する、理解を深め活用につなげていく。  
虐待、身体拘束を行わない方針を変えず、グレーゾーンに関する認識を深め、よりよい接遇を目指す。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表										
法人名	株式会社エージングアシスト	代表者	大石 綾	法人・事業所の特徴	経営理念「一歩踏み込む優しさが、私たちのおもてなし、わたしたちを取り巻く全ての人がその人らしくあるために」併設施設にシルバーホームなごみがある(住宅型有料老人ホーム)。有料老人ホーム利用者のみではなく、自宅で生活している利用者にも小規模多機能型居宅介護を提供している。認知症があってもなじみの職員と共に家庭的な雰囲気の中、生活していただける事を目標としている。					
事業所名	なごみの家	管理者	田畑 佳那子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	1人	人	人	人	人	2人
項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果			意見			今回の改善計画		
A.事業所自己評価の確認	サービス評価の開催が、コロナ感染症拡大のために出来ていなかったため今後は定期的に開催していく。	今年度のサービス評価は実施する事が出来た。自己評価に関してもほぼすべての従業員さんに回答を頂き、ミーティングを実施し意見をまとめる事が出来た。サービス評価は運営推進会議で実施。市町村職員様、利用者ご家族に参加していただいた。			委員会、研修の開催もあるななミーティング等、職員を集めて話をするのは非常に大変だと思います。			ミーティングは比較的午後の時間に余裕のある第4木曜日に開催する。サービス評価かどのようなものであるか十分理解できていない従業員さんもいるので、資料を配布し周知を図る。		
B.事業所のしつらえ・環境	"運営推進会議、イベントを通じて、地域の方々との交流を深め、訪問しやすい環境を整備する。清掃、汚物の処理を適宜適切に実施し、不快な匂い等を発生させない。基本的に玄関等のカギは開錠し、自由に入出入りできるようにする。"	事業所は閉鎖的ではなく、常に開放されている。運営推進会議に地域の方を招待し、意見をお聞きしている。清掃、汚物処理は決まった手順で実施されており、不快なおい等の発生はなかった。玄関は施錠せず開放されている。			地域交流も積極的にてきている。包括支援センター、民生委員とのかかわりを運営推進会議等でもっともつべき。事業所は清潔で不快なおい等はありません。			家族、地域の方々が行事所内に入りやすい環境を作る。民生委員とのかかわりを積極的に持つ。イベント、避難訓練の際には地域住民の方々の参加を促す。		
C.事業所と地域のかかわり	挨拶をはじめ、明るい雰囲気を利用者、訪問した方々に対応する。運営推進会議、イベントへの参加を通じて、地域の方々に事業所を知っていただく。	挨拶は習慣化されている。事業所の雰囲気は明るく、訪問した方々からもお褒めの言葉を頂いている。地域のフリーマーケット等に利用者様と参加したり、運営推進会議に地域の方を招待し事業所を知っていただけるよう努力している。			フリーマーケットに利用者と一緒に出掛けるのは素晴らしいと思う。町内会等も積極的な活動がないようだが、運営推進会議に民生委員等と呼んでみても良いのでは。フリーマーケット、送迎時等に介護相談を受けることがあるとのこと。引き続き継続してください。			コロナウイルス感染症等の状況に注意しながら地域行事、イベントへの参加を継続して行う。運営推進会議に民生委員、包括支援センターの職員さんをお呼びし、地域の課題等を知る。		
D.地域に向いて本人の暮らしを支える仕組み	コロナ感染症の収束後、屋外、外部に出かけるイベント等を企画、実施していく。運営推進会議には、行政の方々だけではなく、地域の方々をお誘いし、参加していただく。	花見等、屋外、外部に出かけるイベントは再開することが出来ている。運営推進会議に地域住民の方を招待し意見を聴くことが出来ている。			屋外への外出行事もあり、利用者施設の中に閉じ込めてはいない。地域行事、イベントへの参加もできています。			利用者がお住いの地域の方を運営推進会議に招待する。地域に開かれた事業所を目指し、近隣の介護相談、行事、イベントへの参加を積極的にやっていく。		
E.運営推進会議を活かした取り組み	介護保険サービスに詳しく無い方も参加することを踏まえ、専門用語を出来るだけ少なく、理解しやすい資料作りを行う。運営推進会議での意見を、職員会議等で議論し、改善につなげていく。	資料はわかりやすく作成することが出来ていた。運営推進会議での意見は職員会議で共有し、改善することが出来ている。			今回初めての参加なのでわからないのところにチェックをつけさせていただきました。地域の取り組みを一緒に取り組もうとする姿勢はあります。			民生委員、包括支援センター等の職員を運営推進会議に招待し、地域で心配されている方等の事例検討を行う。		
F.事業所の防災・災害対策	事業所周辺の浸水、高潮、土砂崩れ、地震等のハザードマップを作成し、従業員に周知する。災害時の食料、水を備蓄しておく。	ハザードマップを作成し、従業員に周知することが出来ている。食料、水も備蓄する事が出来ている。			避難所への避難は移動手段、速度を考えたとしても現実的ではないかもしれない。地域の方を防災訓練に呼んでも良いかもしれない。災害時は頼りにしている。			避難訓練の際は、できる限り地域の方等を招待し実施するようにする。備蓄品は定期的に量、期限を確認する。		